学校紹介新聞

茨城県立 霞ケ浦聾学校

◆校　長　坪松　久美子
◆在校生数　32人
◆創　立　1965年
◆住　所　稲敷郡阿見町上長3の2

がんばっています！

関東聾学校中学部卓球大会でプレーする筆者＝2022年10月４日、東京・駒沢（こまざわ）オリンピック公園

勉強、運動 みんなで協力

私たち中学部生は、全員が卓球部に所属し、大会に向けて、毎日練習を頑張っています。また、小中学部全員が、委員会・児童生徒会に所属し、学校をより良くするために話し合い、協力しながら活動しています。

私たちの目標は、校訓にもある「明るく・やさしく・自分から」です。学校では、手話や指文字によるコミュニケーション方法で楽しく話したり、運動や勉強をしたりしています。

自分が聞こえないから何もできないではなく、自分の将来のために、教科の学習の他に、自立活動の学習も頑張っています。障害者手帳についてのことや将来の自分の仕事について、自分の考えを深める機会としています。将来、困らないように、学んだことをしっかりと生かしていきたいと思います。

（中学部２年　小林万真）

こんな学校です！

図書館での実習の様子

幼小中、聴覚に合わせ学ぶ

本校は、創立57年目を迎える歴史と思い出あふれる聴覚に障害のある幼児児童生徒のための学校です。就学前の乳幼児を対象とした早期教育や通級指導教室もあります。幼稚部では８人の幼児、小学部では18人の児童、中学部では６人の生徒が学んでいます。

幼稚部では、春と秋の遠足や夏祭りなど季節に合わせた行事がたくさんあります。小学部や中学部では、宿泊学習や修学旅行、持久走記録会などの行事があります。特に中学部の職場体験学習では、将来の仕事をする上での注意点などを学ぶことができます。

学校生活では、聴覚障害の程度に合わせて、手話や指文字、文字情報などの情報保障を活用し、学習しています。卒業後の将来に向けて、たくさんの思い出をつくりながら、日々、生徒会活動や部活動、勉強に一生懸命取り組んでいます。

（中学部３年　上野真央）

学校間交流

霞ケ浦（かすみがうら）聾学校の紹介をしている様子

質問し合って「発見」

本年度、４年生は水戸聾学校、阿見町立本郷小学校、土浦市立大岩田小学校とオンラインで交流しました。本郷小学校、大岩田小学校との交流では、ぼくたちのことを分かってもらうために、聞こえのことや会話をするときのポイント、補聴器・人工内耳のことなど、みんなで発表して伝えることができました。また、クイズやゲームをしたり、手話を紹介したりして、楽しく活動することができました。水戸聾学校とは、初めて同じ聾学校の友達との交流でしたが、手話や言葉がはっきりとしていてよく分かり、いろいろなことを質問し合うことができました。

お互いの学校紹介をしたり、質問をしたりすることで、いろいろな発見があり、他の学校のことをたくさん知ることができた交流になりました。

（小学部４年　明石祐馬）

みんな仲良し

5、6年生がまとめ役

小学部全員で遊ぶ「わくわくタイム」で、活動内容（ないよう）を伝える５年生＝右おくの３人

５、６年生は、小学部のみんなが明るく楽しい学校生活を送ることができるように活動しています。

その一つとして、毎週水曜日の中休みに、小学部全員で遊ぶ「わくわくタイム」を行っています。全員が楽しく遊べるようにルールを工夫したり、声の大きさやはっきりとした手話を意識したり、タブレットを活用したりしています。遠足などの行事では、５、６年生がグループや係のリーダーとして、みんなの意見を聞いてまとめたり、グループがバラバラにならないように友達に優しく声をかけたりしています。こうしたことに気をつけて、みんなが安心して楽しめるようにしています。

今までの先ぱいたちが私たちにしてくれたように、これからも小学部全員が明るくがんばれるよう、５、６年生で協力していきたいです。

（小学部５年　島田さくら）

次回は３月８日　下妻市立宗道小学校です